

平成 17 年 6 月期 第1四半期業績の概況(連結)



平成16年10月27日

会社名 グッドウィル・グループ株式会社 (コード番号 4723 東証第1部)
 (URL <http://www.goodwill.com>)
 代表者 役職名 代表取締役会長
 氏名 折口 雅博
 問い合わせ 役職名 常務取締役管理本部長兼会長室長
 氏名 金崎 明 TEL (03) 3405 - 9228

1. 四半期業績の概況の作成に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有 新規連結子会社 5社

2. 平成17年6月期第1四半期業績の概況(平成16年7月1日～平成16年9月30日)

(1) 経営成績

(単位:百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年6月第1四半期	31,603	(66.1)	1,520	(21.4)	1,209	(0.3)
16年6月第1四半期	19,029	(20.5)	1,253	(48.3)	1,204	(38.7)
(参考)16年6月期	93,042	(49.4)	5,974	(20.2)	5,539	(15.1)

(注) 売上高、営業利益、経常利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績に関する補足説明]

当四半期におけるわが国経済は、輸出、設備投資が増加し、雇用情勢も改善の動きがみられ、個人消費も比較的堅調な推移を見せ、改善の傾向を示しました。

こうした状況の中、当企業グループは、グループ経営の意思決定及び業務執行の迅速化等を目的として、平成16年8月1日付けで純粋持株会社制に移行し、当社グッドウィル・グループはグループ各社を統括する純粋持株会社となりました。グループ全体の動きとしては、人材派遣事業の集約のため、株式会社グッドウィル・キャリアの人材派遣事業と株式会社ソアのドライバー派遣事業を当社子会社株式会社グッドウィルに移管するとともに、請負事業も集約をはかり、株式会社グッドウィルとその子会社3社(株式会社東邦アドライズ、有限会社エヌアンドエスプランニング及び共同エンジニアリング株式会社)が合併いたしました(存続会社は株式会社グッドウィル)。さらに株式会社グッドウィル・キャリアの社員カウンセリングプログラム(EAP)事業を会社分割により株式会社グッドウィル・フォーサイト(新設)に事業移管いたしました。また、人材サービスに対する顧客ニーズへの対応強化と既存事業とのシナジー効果の発揚等を目的として、平成16年7月にヒュー・マネジメント・ジャパン株式会社の株式を公開買付けにより取得し、子会社化いたしました。

セグメント別の事業の状況については、請負事業は主要会社である株式会社グッドウィルにおいて前期に引き続き出店を加速し、当四半期において128拠点の出店を行いました。またスタッフ確保も積極的に行い、登録スタッフ数は当四半期末において149万人に達しております。また、新規事業開発の強化を目的として、事業開発室を新設いたしました。介護・医療支援事業においては、在宅介護事業部門では、引き続き拠点数の拡大を積極的に進め、当四半期中に42拠点を新設し、顧客数も3,420名の純増となるなど好調に推移いたしました。施設介護事業の中核となるグループホーム事業において、当四半期中に6施設を開所し、有料老人ホーム事業では、既存3施設ともほぼ満室で順調に推移するなど、引き続き順調に推移いたしました。人材関連事業においては、ドライバー派遣事業が引き続き好調に推移するとともに、社員カウンセリングプログラム(EAP)事業についても堅調に推移いたしました。

この結果、連結売上高は前年同四半期比125億74百万円増加の316億3百万円、営業利益は前年同四半期比2億67百万円増加の15億20百万円、経常利益は前年同四半期比4百万円増加の12億09百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

平成16年7月にTOBによりヒュー・マネジメント・ジャパン株式会社の株式の50.3%を取得して子会社化いたしました。これにより、同社の貸借対照表及び損益計算書が当第1四半期の連結決算上取り込まれております。

3. 平成17年6月期の連結業績予想（平成16年7月1日～平成17年6月30日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
中間期	55,000	2,500	1,200	1,886	78
通期	130,000	6,000	2,800	4,402	48

[業績予想に関する定性的情報]

業績予想は平成16年8月30日に発表の業績予想から変更はありません。

(参考)

1. 当該四半期の連結売上高の状況

(単位:千円、単位未満切り捨て)

品目名	期別	17年6月第1四半期	16年6月第1四半期	増減率
		自平成16年7月01日 至平成16年9月30日	自平成15年7月01日 至平成15年9月30日	
セグメント	請負事業	17,655,759	10,787,585	63.7%
	人材関連事業	2,076,631	481,403	331.4%
	介護・医療支援事業	11,870,757	7,760,121	53.0%
	合計	31,603,148	19,029,110	66.1%

(注) 1.上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2.当企業グループが行う業務は人員数、期間等が一律ではなく、数量表示は困難でありますので記載しておりません。

3.事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。また、上記の金額は、セグメント間の内部売上高または振替高消去後の金額であります。

4.セグメント別区分について

請負事業 ... 軽作業(株式会社グッドウィル及び株式会社ソア)、構内作業請負等(株式会社グッドウィル、共同エンジニアリング株式会社、東邦アドライズ株式会社及び有限会社エヌアンドエスプランニング)

人材関連事業 ... 社員カウンセリングプログラム(EAP)(株式会社グッドウィル・キャリア及び株式会社グッドウィル・フォーサイト)、採用支援(株式会社グッドウィル・キャリア)、ドライバー派遣(株式会社グッドウィル及び株式会社ソア)、技術者派遣(株式会社グッドウィル・エンジニアリング、再就職支援事業(ヒュー・マネジメント・ジャパン株式会社)、シニア派遣事業(ヒュー・マネジメント・ジャパン株式会社)

介護・医療支援事業 ... 在宅介護、施設介護、訪問歯科診療サポート(株式会社コムスン)、マッサージ師の派遣事務代行(株式会社マッサージ師事務代行センター)、ペットケア(アドホック株式会社、保育所の運営(株式会社コティ))

5.売上高の数値は、未監査であります。

2. 第1四半期の連結損益計算書

(単位:千円、単位未満切り捨て)

科目	17年6月第1四半期		16年6月第1四半期		前年同期比増減	
	自平成16年7月01日 至平成16年9月30日		自平成15年7月01日 至平成15年9月30日			
	(A)		(B)			
	金額	百分比	金額	百分比	金額(A)-(B)	増減率
売上高	31,603,148	100.0%	19,029,110	100.0%	12,574,037	66.0%
売上原価	21,156,014	67.0%	12,579,854	66.2%	8,576,160	68.1%
〔売上総利益〕	10,447,134	33.0%	6,449,256	33.8%	3,997,877	61.9%
販売費及び一般管理費	8,926,228	28.2%	5,196,175	27.3%	3,730,053	71.7%
(うち連結調整勘定償却)	(431,352)	(1.3%)	(96,242)	(0.5%)	(335,110)	(348.1%)
〔営業利益〕	1,520,905	4.8%	1,253,080	6.5%	267,824	21.3%
営業外収益						
受取利息	2	0.0%	1,119	0.0%	1,117	99.7%
その他	62,629	0.1%	22,339	0.1%	40,290	180.3%
営業外費用						
支払利息割引料	260,591	0.8%	71,130	0.3%	189,460	266.3%
その他	113,942	0.3%	499	0.0%	113,443	22724.7%
〔経常利益〕	1,209,003	3.8%	1,204,909	6.3%	4,094	0.3%

(注) 1.上記損益計算書においては、特別損益以下の項目の記載の省略しております。

2.前年同期比増減欄の増減は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{\text{(A)当年第1四半期の実態} - \text{(B)前年第1四半期の実態}}{\text{(B)前年第1四半期の実態}} \times 100$$

3.上記の数値は、未監査であります。

3. 第1四半期の連結貸借対照表

(単位:千円、単位未満切り捨て)

科目	17年6月第1四半期 平成16年9月30日現在 (A)		16年6月第1四半期 平成15年9月30日現在 (B)		前年同相比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額(A)-(B)	増減率
流動資産	57,798,950	46.3%	31,291,441	66.0%	26,507,509	84.7%
固定資産						
有形固定資産	27,590,938	22.1%	2,924,590	6.2%	24,666,348	843.4%
無形固定資産	33,321,627	26.7%	9,051,489	19.1%	24,270,138	268.1%
投資その他の資産	6,046,296	4.8%	4,123,517	8.7%	1,922,779	46.6%
繰延資産	-	-	21	0.0%	21	100.0%
資産合計	124,757,813	100.0%	47,391,059	100.0%	77,366,754	163.2%
流動負債	49,552,628	39.7%	24,074,959	50.8%	25,477,669	105.8%
固定負債	33,898,052	27.1%	4,994,083	10.5%	28,903,969	578.7%
負債合計	83,450,680	66.8%	29,069,043	61.3%	54,381,637	187.0%
少数株主持分	1,827,895	1.4%	485,228	1.0%	1,342,667	276.7%
資本合計	39,479,237	31.6%	17,836,786	37.6%	21,642,451	121.3%
負債・少数株主持分及び資本合計	124,757,813	100.0%	47,391,059	100.0%	77,366,754	163.2%

(注) 1.上記の数値は、未監査であります。

2.前年同相比増減欄の増減は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{(\text{A})\text{当年第1四半期の実態} - (\text{B})\text{前年第1四半期の実態}}{(\text{B})\text{前年第1四半期の実態}} \times 100$$

4. 第1四半期の個別売上高の状況

当社は平成16年8月1日付で会社分割を行い、請負事業部門が当社子会社である株式会社グッドウィルに移管され、当社は純粋持株会社に移行いたしました。これにより、当社の主たる事業は請負事業からグループ会社の経営管理業務等になりました。そのため品目別の売上区分がありませんので、従来開示しておりました作業区分別の売上高については、開示を省略させていただきます。なお、平成16年7月（請負事業を主たる事業としていた期間）における作業区分別の売上高は以下の通りとなります。

（参考：当社の平成16年7月の作業区分別の売上高）

（単位：千円、単位未満切り捨て）

品目名		期別	17年6月第1四半期
			自平成16年07月01日 至平成16年09月30日
請 負 作 業	キャストイング作業		4,077,266
	コンストラクション作業		271,798
	セールスプロモーション作業		262,599
	テクニカルサポート作業		159,234
	オフィスサポート作業		126,445
	イベント作業		142,589
	その他		482,944
	計		5,522,876

（注）1.上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2.当社が行う請負業務は人員数、期間等が一樣ではないため、数量表示は困難でありますので記載しておりません。

3.品目区分について

請負作業・キャストイング作業 ... 軽作業全般の請負作業

請負作業・コンストラクション作業 ... 建設、内装現場の請負作業

請負作業・セールスプロモーション作業 ... 店頭での販売促進等の請負作業

請負作業・テクニカルサポート作業 ... マルチメディア関連の請負作業

請負作業・オフィスサポート作業 ... オフィス・事業所内軽作業

請負作業・イベント作業 ... イベント会場の設営・撤去等の請負作業

請負作業・その他 ... 上記以外の請負作業など

4.売上高の数値は、未監査であります。

5. 第1四半期の個別損益計算書及び貸借対照表

「4. 第1四半期の個別売上高の状況」に記載の通り、当社は平成16年8月1日付で会社分割を行い純粋持株会社に移行いたしました。これにより、当社グループとしての財政状態や経営状態に影響はございませんが、当社個別の財政状態や経営成績については、前期数値との継続性がなくなることから、当四半期は前期比較形式での開示を省略し、当四半期の実績のみを記載しております。

(単位：千円、単位未満切り捨て)

(損益計算書)

科目	17年6月第1四半期 自平成16年07月01日 至平成16年09月30日	
	金額	百分比
売上高	5,986,148	100.0%
売上原価	3,642,291	60.9%
〔売上総利益〕	2,343,857	39.1%
販売費及び一般管理費	1,893,068	31.6%
〔営業利益〕	450,788	7.5%
営業外収益		
受取利息	13,171	0.2%
その他	52,861	0.8%
営業外費用		
支払利息割引料	222,513	3.7%
その他	59,995	1.0%
〔経常利益〕	234,312	3.9%

(貸借対照表)

科目	17年6月第1四半期 平成16年9月30日現在	
	金額	百分比
流動資産	20,647,482	21.2%
固定資産		
有形固定資産	24,906,749	25.6%
無形固定資産	6,456	0.0%
投資その他の資産	51,553,071	53.0%
資産合計	97,113,759	100.0%
流動負債	26,109,208	26.8%
固定負債	33,563,311	34.5%
負債合計	59,672,519	61.4%
資本合計	37,441,240	38.5%
負債及び資本合計	97,113,759	100.0%

(注) 1.上記損益計算書においては、特別損益以下の項目の記載の省略しております。

2.前年同期比増減欄の増減は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{(A)\text{当年第1四半期の実態} - (B)\text{前年第1四半期の実態}}{(B)\text{前年第1四半期の実態}} \times 100$$

3.上記の数値は、未監査であります。